

第 180 回 計測技術委員会議事録（案）

日 時 2023 年 10 月 11 日（水） 15:00～16:10

場 所 産業技術総合研究所及びオンライン

出席者 委 員 長 山田（産総研）

委 員 井上（三菱電機）、河村（アンリツ）、佐山（防衛大）、福本（佐賀大）
藤井（NICT）、古川（埼玉工大）、松野（群馬大）

参 加 木本（佐賀大）

顧 問 仲嶋（福山大）

幹 事 今池（日大）、作本（日大）

幹事補佐 小平（日電検）、白井

資 料

180-1 第 147 回運営委員会 2023.8.18

180-1-2 2024 年度 A 部門予算 活動資金について

180-1-3 2024 年度活動資金申請書

180-2 2024 年計測技術委員会活動計画二次案

180-3 2024 年計測研究会実施計画二次案

180-4 2023 年度計測技術委員会活動状況

議 事

1 前回議事録の確認

- ・ p.2 ↓6「産総研西事業所本会」を「産総研西事業所本館」に修正の後、承認された。

2 運営委員会報告（8 月 18 日開催分）

山田委員長より資料 180-1～180-1-3 に基づき説明があった。

- ・電気学会入会促進キャンペーンについて、各部門でキャンペーンの内容が異なっていることから、現時点では部門間の統一は行わない。

- ・令和 5 年の A 部門積立金を取り崩すことが決まっており、今年度予算を予定通り実行しても、累積赤字が確定となる。

- ・令和 6 年 A 部門大会の活性化に向けてワーキンググループを立ち上げ、企業紹介ブースなどの取り組みを立案中である。

- ・研究会資料の年間購読管理システムは、インボイス制度対応のシステムに改修する必要があり、二つの案が提案されている。

- ・A 部門の財政難を受け、令和 6 年度は、今年度比 70%を目途とする財政健全化策が検討されている。活動資金削減のほか、特集論文の増加、委員会・研究会会場費の削減などの策が上がっている。次回運営委員会で審議される。

- ・令和 6 年度の計測技術委員会の活動資金は、運営委員会に提出済みである。

3 2024 年度計測技術委員会活動計画

作本幹事より資料 180-2、180-3 に基づき、2024 年度活動計画二次案及び計測研究会実施計画二次案について説明があった。

- ・見学会は 11 月に予定するが、委員会とは別の開催を考えている。
- ・研究会は 5 回の開催を予定し、全て「及び一般」を付したテーマである。
- ・研究会の担当委員について、二次案では今年度と同じ担当委員とするが、意見があれば三次案で修正したい。
- ・12 月の「生体計測」は、横断的波動センシングシステム協同研究委員会と合同開催とする。また、2 月の「光応用計測」は、光応用・視覚技術委員会との合同開催で、電子情報通信学会 PEM 研究会との連催を予定している。2 日間開催とするが、今後、検討したい。

4 2023 年度活動状況

作本幹事より資料 180-4 に基づき、活動状況について説明があった。

- ・今年度の見学会は、10 月 11 日に環境研究所で実施した。
- ・11 月の「計測一般」は、13 件の発表を予定している。11 月 9 日の午後 2 時半頃まで、学生研究発表会が開催される。発表に先立ち、産総研の金子様から特別講演をいただく。
- ・12 月の「生体計測」は、12 月 7 日、8 日に伊勢市文化会館で開催する。現在、18 件の応募がある。
- ・2 月の「光応用計測」は、2 月 29 日、3 月 1 日に福岡市のリファレンス駅東ビルで開催する。2 日間で開催できるように投稿してほしい。また、研究会終了後、意見交換会を予定しているが、会場を貸切る場合は 20 数名が必要になるので、積極的な参加をお願いする。

5 計測技術委員会委員の追加

山田委員長より、2023 年 9 月から、日本大学の松村先生が委員として加わったとの報告があった。

次回 2024 年 2 月 2 日（金）14 時～17 時 場所 東京都内を予定

IEEE 関係議事録

資 料

2024 年度 IEEE 学生研究発表会実施計画

議 事

- ・2023 年第 1 回学生研究発表会は 11 月 9 日に開催し、16 件の発表を予定している。
- ・第 2 回は、12 月 22 日に山形の寒河江温泉で開催し、授賞式も行う。

以 上